

各工程表の成果目標について(案)

は第36回宇宙政策委員会の資料4記載部分

資料4

No	工程表名	成果目標(案)	政策体系			各省の関連施策	
			安	民	基	施策名	省庁
1	準天頂衛星システムの開発・整備・運用【内閣府、総務省、文科省】	【安保】総合的な観点から、準天頂衛星を含む測位システムの抗たん性の確保に留意し、必要な対策等を設計及び運用体制に反映する。準天頂衛星の活用が我が国の安全保障能力の強化に資するよう、必要な機能・性能について検討を行い、その検討結果を設計に反映するとともに着実な開発を行う。 準天頂衛星と米GPS衛星との連携を進める。  【民生】民生向けに準天頂衛星のGPS補完、GPS補強、メッセージ通信等の提供サービスが常時活用できるよう、高信頼性等を確保した衛星の設計、開発、運用を進める。	◎	◎		準天頂衛星システムの開発・整備・運用(当初及び補正)	内閣府
						準天頂衛星時刻管理系設備の運用	総務省
						準天頂衛星の運用	文部科学省
2	準天頂衛星システムの利活用の促進等【内閣府、国交省等】	【安保】宇宙空間の安定的利用の確保、宇宙を活用した我が国の安全保障能力の強化、宇宙協力を通じた日米同盟等の強化の観点から、準天頂衛星の利活用を進める。  【民生】準天頂衛星の利活用について、国内では、公共分野や民生分野におけるニーズを踏まえて、準天頂衛星を利用したサービスの開発を進め、利活用分野の多様化を図る。 また、海外に対しては、電子基準点網等の測位インフラ整備や準天頂衛星を活用したサービスの展開を推進していく。	◎	◎		準天頂衛星システムの開発・整備・運用(当初及び補正)	内閣府
						宇宙利用拡大の調査研究	内閣府
						国際研究開発・実証プロジェクト(準天頂衛星システム利用実証事業)	経済産業省
						高精度測位技術を活用したストレスフリー環境づくりの推進	国土交通省
						人工衛星の測量分野への利活用(測位分野)	国土交通省
						3次元地理空間情報を活用した安全・安心・快適な社会実現のための技術開発	国土交通省
						VMSシステムの運用	農林水産省
農林水産業におけるロボット技術開発実証事業(補正)	農林水産省						
3	利用ニーズの各プロジェクトへの反映【内閣府等】	【安保・民生】安全保障・民生分野における衛星リモートセンシングの利用ニーズを明らかにした上で、これらの情報が、各衛星プロジェクトを実施する者に共有されるような仕組みの案を取りまとめる。	◎	◎		宇宙利用拡大の調査研究	内閣府
4	情報収集衛星等(光学)【内閣官房】	【安保】(民生)ユーザー・ニーズの反映と運用効果の検証の態勢、情報共有の在り方、情報収集衛星の抗たん性確保の在り方等について検討を行い、必要な施策を講じる。	◎	○		情報収集衛星関係経費(当初及び補正)	内閣官房
5	情報収集衛星等(レーダ)【内閣官房】	機数増を含めた情報収集衛星の体制の継続的な強化、従来4機体制を構成する衛星に関する機能の拡充・強化等を通じ、官邸等の国家安全保障に関する政策判断をより的確に支えるとともに、自衛隊を含む関係機関の活動により直接的に寄与する。	◎	○		情報収集衛星関係経費(当初及び補正)	内閣官房
6	即応型の小型衛星等【内閣官房、内閣府、文科省、防衛省等】	【安保】即応型の小型衛星等について、宇宙システム全体の抗たん性強化に関する検討を踏まえつつ、その運用上のニーズや運用構想等に関する調査研究を実施し、その在り方等に関して整理・明確化する。	◎				
7	先進光学・レーダ衛星【文科省】	【安保・民生】宇宙安全保障の確保及び民生分野における宇宙利用の推進に資するため、我が国の技術的強みを生かした先進光学衛星及び先進レーダ衛星の開発・運用を行うとともに、これら衛星から得られたデータの積極的な利用拡大に努める。 また、切れ目なく衛星を整備するため、先進光学衛星及び先進レーダ衛星の後継機の開発・運用を行う。	◎	◎		先進光学衛星	文部科学省
8	地球観測衛星事業に必要な制度整備等の検討【内閣府、外務省、文科省、経産省】	【安保・民生】我が国の安全保障上の利益と民生分野における利用・市場拡大のバランスを図りつつ、地球観測衛星事業を推進するための制度等に関する検討を行い、必要な措置を講じる。	◎	◎			
9	静止気象衛星【国交省】	【民生】平成27年度にひまわり8号の観測運用を開始する。また、平成28年度にひまわり9号を打ち上げ、待機運用を開始する。これにより、ひまわり8号と9号の2機体制を確立させ、静止気象衛星による観測を継続して実施するとともに、台風・集中豪雨等の監視など、国民の安全・安心に欠かせない衛星データの利活用を引き続き行う。		◎		静止気象衛星業務等	国土交通省
10	温室効果ガス観測技術衛星【文科省、環境省】	【民生】主要な温室効果ガス排出国における人為起源の温室効果ガス排出量等の監視強化及び温室効果ガス濃度の全球分布とその時間的変動の継続的な監視体制整備を行う。			◎	温室効果ガス観測技術衛星後継機(GOSAT-2)(当初及び補正)	文部科学省
						軌道上衛星の運用(利用衛星、補助金分) (GOSAT、GCOM-W、ALOS、ALOS-2、GPM/GPR)	文部科学省
						いぶき(GOSAT)観測体制強化及びいぶき後継機開発体制整備等	環境省
11, 12	その他リモートセンシング衛星開発・センサ技術高度化(1)及び(2)【総務省、外務省、文科省、経産省、国交省、環境省】	【安保・民生・基盤】現在開発中の災害予防・対応等のための取組を着実に進め、それぞれの目的を達成する。 新たな衛星の開発及びセンサ技術の高度化にあたっては、出口が明確なものから優先的に進め、地球規模課題の解決等に資する。 その際、複数の衛星間でのバス技術の共通化等を通じて、効果的・効率的に進める。	◎	○	◎	超低高度衛星技術試験機(SLATS)(当初及び補正)	文部科学省
						赤外センサの研究	文部科学省
						気候変動観測衛星「GCOM-C」(当初及び補正)	文部科学省
						雲エアロゾル放射ミッション/雲プロファイニングレーダ(EarthCARE/CPR)	文部科学省
						軌道上衛星の運用(利用衛星、補助金分) (GOSAT、GCOM-W、ALOS、ALOS-2、GPM/GPR)	文部科学省
						宇宙通信システム技術に関する研究開発	総務省
						超高分解能合成開口レーダの小型化技術(ASRAR02)の研究開発	経済産業省
						石油資源遠隔探知技術の研究開発	経済産業省
						次世代地球観測衛星利用基盤技術の研究開発	経済産業省
						ハイパースペクトルセンサ等の研究開発	経済産業省
極軌道プラットフォーム搭載用資源探査観測システム/次世代合成開口レーダ等の研究開発	経済産業省						
13	技術試験衛星【総務省、文科省、経産省】	【民生】国際競争力強化の観点から、世界市場においても競争力のある衛星技術を獲得するための技術試験衛星の開発を行う。  【基盤】10年先の通信・放送衛星の市場や技術の動向を予測しつつ、世界最先端のミッション技術や衛星バス技術等を獲得することにより、関連する宇宙産業や科学技術基盤の維持・強化を図る。	◎	○		宇宙通信システム技術に関する研究開発	総務省
						海洋資源調査のための次世代衛星通信技術に関する研究開発	総務省
						次世代情報通信衛星の技術検証	文部科学省
14	光データ中継衛星【総務省、文科省】	【安保・民生】光データ中継衛星を打ち上げ、地球観測衛星からの大量のデータを高い抗たん性をもって即時に地上へ中継する技術を獲得することにより、今後のリモートセンシングデータ量の増大及び周波数の枯渇に対応する。	◎	◎		宇宙通信システム技術に関する研究開発 光データ中継衛星	総務省 文部科学省
15	Xバンド防衛衛星通信網【防衛省】	【安保】Xバンド防衛衛星通信網の着実な整備を進め、自衛隊の指揮統制・情報通信能力を強化する。	◎			Xバンド衛星通信中継機能等の整備・運営事業を含む衛星通信の利用 宇宙を利用したC4ISRの機能強化のための調査・研究	防衛省 防衛省
16	基幹ロケットの優先的使用【内閣官房、内閣府、文科省、経産省、国交省、環境省、防衛省等】	【基盤】政府衛星を打ち上げる場合には、基幹ロケットを優先的に使用し、我が国の宇宙活動の自立性の確保に貢献する。			◎		

各工程表の成果目標について(案)

は第36回宇宙政策委員会の資料4記載部分

資料4

No	工程表名	成果目標(案)	政策体系			各省の関連施策	
			安	民	基	施策名	省庁
17	新型基幹ロケット【文科省】	【基盤】我が国の自立的な打ち上げ能力の確保及び打ち上げサービスの国際競争力の強化を目指し、「新型基幹ロケット」の機体と種子島宇宙センター等の地上システムを一体とした総合システムとして開発を着実に推進する。			◎	新型基幹ロケット 基幹ロケット相乗り機会拡大対応改修 基幹システムの維持 等 基幹ロケット(H-IIA)高度化(当初&補正)	文部科学省 文部科学省 文部科学省 文部科学省
18	イプシロンロケット【内閣官房、文科省、防衛省等】	【基盤】平成27年度末をめどに打ち上げ能力の向上及び衛星包絡域の拡大のための高度化を完了し、当該能力を必要とする所要の衛星を打ち上げる。 「新型基幹ロケット」の固体ロケットブースターとのシナジー効果を発揮できるような将来の固体ロケットの形態の在り方について検討を行い、必要な措置を講じる。			◎	基幹システムの維持 等 基幹ロケット(イプシロン)高度化及び相乗り機能付加(補正)	文部科学省 文部科学省
19	射場の在り方に関する検討【内閣官房、内閣府、文科省、防衛省等】	【基盤】諸外国の射場に関する動向も踏まえ、我が国としての射場の在り方に関して論点を整理する。			◎	宇宙利用拡大の調査研究	内閣府
20	即応型の小型衛星等の打上げシステム【内閣官房、内閣府、文科省、防衛省等】	【安保】即応型の小型衛星等に関する調査研究と連携し、安全保障上のニーズに応じた当該衛星等の打上げシステム(空中発射を含む)の在り方等に関して整理・明確化を行う。	◎				
21	宇宙状況把握【内閣府、外務省、文科省、防衛省等】	【安保】我が国のSSA体制の確立と能力の向上を図るとともに、米国との連携強化の在り方について協議を進め、宇宙空間の安定的利用の確保及び日米同盟の強化に寄与する。  【基盤】我が国のSSA体制の確立と能力の向上を図るとともに、米国との連携強化の在り方について協議を進め、宇宙空間の安定的利用の確保に寄与する。	◎		○	宇宙利用拡大の調査研究 スペースデブリ対策技術の研究 宇宙状況監視に必要な経費 宇宙を利用したC4ISRの機能強化のための調査・研究	内閣府 文部科学省 文部科学省 防衛省
22	海洋状況把握【内閣官房、内閣府、外務省、文科省、国交省、防衛省等】	【安保・民生】関係府省の連携の下、我が国等が保有する各種の人工衛星を試験的に活用する等により、MDAへの宇宙技術の活用について、航空機や船舶、地上インフラ等との組み合わせや米国との連携等を含む総合的な観点から検討を行い、必要な措置を講じる。			◎	海洋環境モニタリング多様化推進事業 北西太平洋地域海行動計画推進費	環境省 環境省
23	早期警戒機能等【内閣官房、内閣府、防衛省】	【安保】早期警戒機能等に係る取組の一環として、赤外線センサの宇宙空間での実証研究を通じて技術的な知見を蓄積する。	◎			宇宙を利用したC4ISRの機能強化のための調査・研究	防衛省
24	宇宙システム全体の抗たん性強化【内閣官房、内閣府、防衛省等】	【安保】我が国及び同盟国が運用する宇宙システム全体(民生用途を含む)の抗たん性を総合的かつ継続的に保持・強化するための方策に関する検討を進め、必要な措置を講じる。	◎			宇宙を利用したC4ISRの機能強化のための調査・研究	防衛省
25	宇宙科学・探査【文科省】	【基盤】学術としての宇宙科学・探査について世界的に優れた成果を創出し人類の知的資産の創出に寄与するとともに、我が国の学術研究と宇宙開発利用を支える人材を育成する。			◎	水星探査計画(BepiColombo) ジオスペース探査衛星(ERG) X線天文衛星(ASTRO-H) 学術研究・実験 等 軌道上衛星の運用(科学衛星) 宇宙科学施設維持 国際宇宙探査関連経費 小惑星探査機「はやぶさ2」の開発	文部科学省 文部科学省 文部科学省 文部科学省 文部科学省 文部科学省 文部科学省 文部科学省
26	国際宇宙ステーション計画を含む有人宇宙活動【文科省】	【基盤】(民生)将来の人類の活動領域の拡大へ寄与すると共に、技術蓄積や民間利用拡大を戦略的に実施し、費用対効果を向上させつつ、引き続き我が国の宇宙分野での国際的な発言力を維持する。 平成33年以降平成36年(2021年以降2024年)までのISS延長への参加の是非及びその形態の在り方については、様々な側面から総合的に検討を行い、平成28年度末までに結論を得る。			○◎	宇宙環境利用関連経費 日本実験棟(JEM)運用等 宇宙ステーション補給機「こうのとり」(HTV)	文部科学省 文部科学省 文部科学省
27	国際有人宇宙探査【文科省】	【基盤】他国の動向も十分に勘案の上、その方策や参加の在り方について、慎重かつ総合的に検討を行う。			◎	宇宙・航空分野の戦略的研究開発・国際展開の推進等	文部科学省
28	民間事業者の新規参入を後押しする制度的枠組みの整備【内閣府、文科省、経産省等】	【基盤】平成28年の通常国会に提出する予定の宇宙活動法案及びリモートセンシング関連法案等と連携しつつ、新規参入を促進し宇宙利用を拡大するために必要となる制度等を包括的に整備する。			◎	宇宙産業技術情報基盤整備研究開発(SERVISプロジェクト)	経済産業省
29	新事業・新サービスを創出するための民間資金や各種支援策の活用等【内閣官房、内閣府、総務省、文科省、厚労省、農水省、経産省、国交省等】	【民生】G空間情報と連携した宇宙に関連した新事業・新サービスを創出するため、民間資金や各種支援策の活用等に関して検討し、必要な措置を講じる。			◎	宇宙利用拡大の調査研究 高精度測位技術を活用したストレスフリー環境づくりの推進 G空間情報を活用したサービスの運用確立のための実証プロジェクト	内閣府 国土交通省 国土交通省
30	部品に関する技術戦略の策定等【内閣府、文科省、経産省、防衛省等】	【基盤】部品に関する技術戦略の策定及び同戦略に基づく施策を通じ、競争力のあるコンポーネント・部品の開発や我が国の優れた民生部品の活用等を促進し、宇宙機器製造基盤の維持・強化を図る。			◎	宇宙産業技術情報基盤整備研究開発(SERVISプロジェクト)	経済産業省
31	費用低減活動の支援及び軌道上実証機会の提供等【文科省、経産省】	【基盤】民間事業者等の人工衛星等の開発・整備・打ち上げ・運用に係る費用を大幅に引き下げることを目指し、低価格・高性能な宇宙用機器や部品の開発・評価等に取り組む。 また、新規要素技術の実証の機会の継続的提供及び拡大を目指し、H-IIA/Bロケットの相乗り、ISSの利用及びイプシロンロケットを用いた軌道上実験を行う。			◎	基幹ロケット相乗り機会拡大対応改修 革新的衛星技術実証プログラム 宇宙産業技術情報基盤整備研究開発(SERVISプロジェクト)	文部科学省 文部科学省 経済産業省
32	東京オリンピック・パラリンピックの機会を活用した先導的社会的実証実験【内閣府、経産省等】	【民生】地方公共団体、企業等と連携しつつ、東京オリンピック・パラリンピックにおける先端的な宇宙技術の社会実装を目的としたモデル事業を検討し、当該モデル事業を実施する。			◎		
33	LNG推進系関連技術【文科省】	【基盤】諸外国のロケット技術の動向を踏まえ、研究開発を推進し、技術を蓄積する。			◎	基幹システムの維持 等	文部科学省
34	再使用型宇宙輸送システム【文科省】	【基盤】「新型基幹ロケット」等の次の宇宙輸送技術の確立を目指して研究開発を推進し、技術を蓄積する。			◎	将来研究(先行・萌芽、将来輸送系、共通基盤技術) 宇宙太陽光発電技術の研究	文部科学省 文部科学省
35	宇宙の潜在力を活用して地上の生活を豊かにし、活力ある未来の創造につながる取組等【文科省、経産省、環境省、総務省等】	【民生】衛星追跡技術を活用した渡り鳥の飛来経路の解明等を通じて、多様な生態系の保全を図り、地球規模課題の解決に資する。  【基盤】宇宙の潜在力を活用して地上の生活を豊かにし、活力ある未来の創造につながる取組や宇宙環境変動への対応力を高める取組を推進し、技術を蓄積する。			◎	アジア地域渡り鳥等国際共同研究推進 渡り鳥の飛来経路の解明事業 発生地周辺への渡り鳥の飛来経路調査 希少野生動物野生順化特別事業	経済産業省 環境省 環境省 環境省
36	宇宙基本計画に基づく施策の政府一体となった推進【内閣府】	【基盤】(安保・民生)宇宙基本計画の3つの目標の実現を目指し、宇宙開発戦略本部の下、内閣府を中心に政府が一体となり、同計画に基づく施策を推進する。	○	○	◎		

各工程表の成果目標について(案)

は第36回宇宙政策委員会の資料4記載部分

資料4

No	工程表名	成果目標(案)	政策体系			各省の関連施策	
			安 保	民 生	基 盤	施策名	省庁
37	JAXAと防衛省との連携【文科省、防衛省】	【安保】JAXAと防衛省の連携強化を通じて、宇宙の安全保障利用を進める。	◎			赤外線センサの研究 先進光学衛星	文部科学省 文部科学省
38	調査分析・戦略立案機能の強化【内閣府、外務省、文科省等】	【基盤】関係府省やJAXA、在外公館等との連携の下、宇宙基本計画に基づく施策を効果的・効率的に実施するために必要な国内外の情報を調査し、我が国が取るべき戦略を長期的視点から検討するための企画立案機能を強化する。			◎	宇宙利用拡大の調査研究	内閣府
39	国内の人的基盤強化【文科省、経産省】	【基盤】宇宙産業・科学技術の基盤の維持・強化に資するため、人的基盤を総合的に強化する。			◎	宇宙航空科学技術推進委託費 等 事業推進関連経費のうち人材育成関連経費	文部科学省 文部科学省
40	国民的な理解の増進【文科省】	【基盤】宇宙に関する国民的な関心を高め、次世代を担う人材のすそ野拡大に幅広く貢献する。			◎		
41	宇宙活動法【内閣府、外務省、文科省、経産省】	【基盤】(安保・民生)平成28年の通常国会への提出を目指し、宇宙諸条約上の義務の履行を確実にするとともに民間事業者による宇宙活動を支える等のための宇宙活動法案を作成する。	○	○	◎		
42	リモートセンシングに関する法制度【内閣府、外務省、文科省、経産省】	【基盤】(安保・民生)平成28年の通常国会への提出を目指し、諸外国の動向を踏まえつつ、リモートセンシング衛星を活用した民間事業者の事業を推進するために必要となる法案を作成する。 なお、法案の検討に際しては、我が国の安全保障上の利益とリモートセンシング衛星の利用・市場の拡大についてのバランスに留意する。	○	○	◎		
43	測位衛星の信号への妨害対応策【内閣府、総務省、外務省、経産省、国交省】	【基盤】(安保)米GPS等の諸外国の測位衛星における妨害対策の動向を十分に踏まえた対応策を検討し、必要な措置を講じる。	○		◎		
44	調達制度のあり方の検討【内閣府等】	【基盤】民間事業者が健全な事業性を維持しながらも、衛星製造等の費用低減に合理的に取り組めるような調達制度の在り方について、諸外国の動向も踏まえつつ、検討する。			◎		
45	宇宙空間における法の支配の実現・強化【内閣府、外務省、文科省等】	【安保】取組を通じ、宇宙空間における法の支配の実現および強化に向けて、宇宙利用に関する国際ルール作りを推進するため一層大きな役割を果たし、宇宙空間の安定的な利用を確保する。	◎			宇宙外交推進費	外務省
46	諸外国との重層的な協力関係の構築【内閣官房、内閣府、総務省、外務省、文科省、農水省、経産省、国交省、環境省、防衛省等】	【基盤】(安保・民生)取組を通じて、日米宇宙協力を強化する。また、開発途上国等が直面する開発課題の解決並びに、国際的な地球観測網の構築及び、宇宙探査分野における連携強化に貢献し、諸外国との重層的な協力関係を構築する。	○	○	◎	宇宙利用拡大の調査研究	内閣府
						宇宙技術を活用した経済協力	外務省
						宇宙外交推進費	外務省
						国際協力の推進	文部科学省
						宇宙・航空分野の戦略的研究開発・国際展開の推進等	文部科学省
						いぶき観測体制強化及びいぶき後継機開発体制整備等	環境省
衛星による地球環境観測経費	環境省						
47	各種課題解決に向けた衛星等の共同開発・相乗り等【内閣府、外務省、文科省、経産省、国交省、環境省等】	【基盤】(安保・民生)中東地域から我が国の近海に至るシーレーンに位置する国やアジア太平洋地域において、諸外国との間での協力の可能性を調査し、必要となる施策を講じることで、我が国が直面するエネルギー、気候変動、災害等の各種課題の解決に貢献するとともに、これらの国々との関係を強化する。	○	○	◎	宇宙利用拡大の調査研究	内閣府
						いぶき観測体制強化及びいぶき後継機開発体制整備等	環境省
						衛星による地球環境観測経費	環境省
48	産学官の参加による国際協力の推進【内閣府、外務省、文科省等】	【基盤】(安保・民生)産学官の多様な主体の参加による諸外国との科学技術協力や人材育成協力等を通じて、すそ野の広い国際宇宙協力を推進することでソフトパワーを発揮し、国際社会における我が国のリーダーシップ及び外交力の一層の強化につなげる。	○	○	◎	宇宙利用拡大の調査研究	内閣府
						宇宙外交推進費	外務省
						国際協力の推進	文部科学省
						宇宙・航空分野の戦略的研究開発・国際展開の推進等	文部科学省
						アジア地域渡り鳥等国際共同研究推進	環境省
49	アジア太平洋地域における宇宙協力の推進【内閣官房、内閣府、総務省、外務省、文科省、農水省、経産省、国交省、防衛省等】	【基盤】(安保・民生)アジア太平洋地域における宇宙協力の枠組を一層強化するとともに、ASEAN地域の発展に貢献し、日ASEAN関係の強化を図る。	○	○	◎	宇宙利用拡大の調査研究	内閣府
						宇宙技術を活用した経済協力	外務省
						宇宙外交推進費	外務省
						国際協力の推進	文部科学省
						宇宙・航空分野の戦略的研究開発・国際展開の推進等	文部科学省
50	宇宙システム海外展開タスクフォース(仮称)【内閣官房、内閣府、総務省、外務省、文科省、農水省、経産省、国交省、環境省、防衛省等】	【基盤】(安保・民生)宇宙分野における政府及び民間関係者で構成する「宇宙システム海外展開タスクフォース(仮称)」を平成27年度前半に立ち上げ、我が国の強み、相手国のニーズ・国情、総合的パッケージなどの観点から戦略的に具体的な海外展開方策を検討し、官民一体となった商業宇宙市場の開拓に取り組む。	○	○	◎	宇宙利用拡大の調査研究	内閣府
51	宇宙安全保障の確保に向けたその他の取組【内閣官房、外務省、防衛省等】	【安保】宇宙空間の安定的利用の確保、宇宙を活用した我が国の安全保障能力の強化、及び宇宙協力を通じた日米同盟等の強化に向けて取組を深化させ、適切な取組については、個別の工程表に反映させていく。	◎			政府間端末等の運用	警察庁
						衛星画像判読分析支援	外務省
						気象衛星情報の利用	防衛省
						商用画像衛星の利用	防衛省

各工程表の成果目標について(案)

は第36回宇宙政策委員会の資料4記載部分

資料4

No	工程表名	成果目標(案)	政策体系			各省の関連施策	
			安	民	基	施策名	省庁
52	民生分野における宇宙利用の推進に向けたその他の取組【内閣府、警察庁、総務省、文科省、農水省、経産省、国交省等】	【民生】宇宙を活用した地球規模課題の解決と安全・安心で豊かな社会の実現及び関連する新産業の創出に向けて取組を深化させ、適切な取組については、個別の工程表に反映させていく。	◎			中央防災無線網の整備・維持管理等	内閣府
						中央防災無線網等の整備(補正)	内閣府
						宇宙利用拡大の調査研究	内閣府
						高解像度衛星画像解析システムの運用	警察庁
						通信衛星の使用	警察庁
						準天頂衛星時刻管理系設備の運用	総務省
						宇宙通信システム技術に関する研究開発	総務省
						海洋資源調査のための次世代衛星通信技術に関する研究開発	総務省
						次世代衛星移動通信システムの構築に向けたダイナミック制御技術の研究開発	総務省
						全国瞬時警報システム(J-ALERT)の衛星回線利用料	総務省
						地域衛星通信ネットワークの利用	総務省
						軌道上衛星の運用(利用衛星、交付金分)(DRTS、ETS-8、WINDS)	文部科学省
						利用推進関連設備の維持 等	文部科学省
						災害観測・監視システムの整備 等	文部科学省
						宇宙航空科学技術推進委託費 等	文部科学省
						被災地域の農作物等復興状況の把握	農林水産省
						赤潮・貧酸素水塊対策推進事業のうち人工衛星による赤潮・珪藻発生等の漁場環境観測・予測手法	農林水産省
						人工衛星の測量分野への利活用(測位分野)	国土交通省
						人工衛星の測量分野への利活用(リモートセンシング分野)	国土交通省
						3次元地理空間情報を活用した安全・安心・快適な社会実現のための技術開発	国土交通省
GPS波浪計による波浪・津波観測の高精度化	国土交通省						
高精度測位技術を活用した公共交通システムの高度化に関する技術開発	国土交通省						
53	宇宙産業及び科学技術の基盤の維持・強化に向けたその他の取組【文科省、経産省】	【基盤】宇宙産業関連基盤の維持・強化及び価値を実現する科学技術基盤の維持・強化に向けて取組を深化させ、適切な取組については、個別の工程表に反映させていく。	◎			宇宙ステーション補給機(HTV)によるデブリ除去システム技術実証(補正)	文部科学省
						基礎・基盤施設維持運営費	文部科学省
						情報システム関連	文部科学省
						信頼性向上プログラム(当初&補正)	文部科学省
						産業振興基盤の強化	文部科学省
						施設整備費及び設備整備費(当初&補正)	文部科学省
						気候変動適応戦略イニシアチブ	文部科学省

(注1)上記政策体系の分類については、今後、各工程表の成果目標の設定状況等を踏まえて、変更される可能性があることに留意。  
 (注2)◎は主として該当する政策体系であり、当該政策体系を担当する部会において意見等を取りまとめるもの。○はその他関係する政策体系であり、当該政策体系を担当する部会においては、補足的意見等を取りまとめるもの。